



除菌や消毒をうたった商品 正しく知って感染症対策を

●流水と石けんを使った丁寧な手洗いが有効です その後さらにアルコール消毒をする必要はありません

流水と石けんでの手洗いができない時に消毒に用いるエタノールは、通常、70%濃度の使用が推奨されていますが、新型コロナウイルスに対しては、70%以上の入手が困難な場合には、60%台のエタノールを使用した消毒も差し支えないとされています。

- ✓ メタノールは毒性が高いため、消毒用として絶対に使用しない
- ✓ 高濃度のアルコールは火気を避けて換気をする



●身近な物の消毒には、次亜塩素酸ナトリウムを 薄めて拭いた後、水拭きをしましょう

食器・ドアノブ等の身近な物を消毒するためには、家事用手袋を着用し、次亜塩素酸ナトリウムを水で0.05%に薄めて拭いた後、水拭きをしましょう。その際、忘れずに換気をしましょう。噴霧は絶対に行わないでください。

●除菌や消毒をうたう商品は、 成分や使用方法などをよく確認しましょう

購入する際や使用する際は、成分は何か、手指に使用してもよい商品なのか、希釈して使用する商品なのか等、広告や表示をよく確認しましょう。



本内容の詳細は、独立行政法人
国民生活センター公式サイトに
掲載しています。
<http://www.kokusen.go.jp/>

くらしの危険

最新号やバックナンバーは
こちらからご覧いただけます。

公式サイト「くらしの危険」コーナー
<http://www.kokusen.go.jp/kiken/index.html>



●「くらしの危険」は、全国の消費生活センター、医療機関等から収集した情報をもとに、被害や事故の未然防止・拡大防止のために作られています。●特定の商品・サービス等を推奨するものではありません。●商品やサービス、設備によって起きた事故の情報を最寄りの消費生活センターにお寄せください。●無断転載はお断りいたします。



独立行政法人
国民生活センター

〒252-0229 神奈川県相模原市中央区弥栄3-1-1 TEL: 042-758-3165 ● 2020年 6月発行
イラスト：川崎 敏郎

くらしの危険

Number
355

除菌や消毒をうたった商品 —新型コロナウイルスに関連して—



新型コロナウイルスの感染拡大により、除菌・消毒用のアルコール液剤等の需要増で品薄となる中、様々な成分を含む除菌や消毒をうたう商品が販売されています。インターネット通信販売サイトで商品を検索すると、アルコールの中でも人体への毒性が高いメタノールを主成分として含有する商品や、手指の除菌には適していない成分を含む商品を手指にも使えるかのように表示されて販売されている例もみられました。

そこで、各地の消費生活センターに相談が寄せられている商品のうち、液状の商品に含まれるアルコール類、次亜塩素酸ナトリウム、次亜塩素酸水、第4級アンモニウム塩、二酸化塩素の情報を取りまとめて紹介します。

除菌	一般に化学的・物理的に微生物を取り除くこと。 その対象や程度は公的には定められていない。
消毒	一般に有害な微生物を除去、死滅、無害化すること。 手指の消毒は医薬品や医薬部外品の効能効果にあたるため、医薬品や医薬部外品にしか使えない用語。

除菌や消毒をうたう商品に関する相談

PIO-NET※1には、新型コロナウイルスに関連した相談のうち、除菌や消毒をうたう商品※2については、2020年4月末日までで837件の相談が寄せられています。

※1 PIO-NET（全国消費生活情報ネットワークシステム）とは、国民生活センターと全国の消費生活センター等をオンラインネットワークで結び、消費生活に関する相談情報を蓄積しているデータベースのこと。

※2 消毒液のほか、除菌等をうたったり、消費者がその効果を期待して購入するような液状、ジェル状、スプレーやシート状の商品等が含まれる（空気清浄器などの機器は含まない）。



▲ 除菌や消毒をうたう商品に関する相談件数（2020年1月～4月）

ケース 1

薬局で、消毒用にと**メタノール**を勧められ購入後、返品した。店の対応に問題がある。
（受付年月：2020年 3月、相談者：年齢不明、男性）

ケース 2

アルコール配合ハンドジェルを、新型コロナウイルスに効くと思い購入した。主成分の**塩化ベンザルコニウム**が新型コロナウイルスを含むウイルス全般に効くのか不安だ。
（受付年月：2020年 4月、相談者：60歳代、男性）

ケース 3

ウイルス感染症対策として通販サイトで除菌アルコール液等とうたう消毒液を購入したが**アルコール濃度が低く**効果がないものだった。
（受付年月：2020年 4月、相談者：60歳代、男性）

ケース 4

店舗が新型コロナウイルスの対策として**次亜塩素酸**で消毒をしているようだ。人体に影響がないか心配である。
（受付年月：2020年 4月、相談者：50歳代、女性）

除菌や消毒をうたう商品成分と特徴

現在販売されている液状の除菌や消毒をうたう商品に含まれる主な成分の特徴を紹介します。
（2020年5月15日時点の調査内容です。）

アルコール類

◆手指からのウイルス除去には、流水と石けんを使用した丁寧な手洗いが有効で、さらにアルコール消毒液を使用する必要はありません。

◆高濃度のアルコールは可燃性のため、火気を避け、換気しましょう。

エタノール 除菌剤等に含まれる最も一般的な成分です。消毒には、**70%濃度が推奨**されていますが、新型コロナウイルスに対しては、70%以上の入手が困難な場合には、60%台の使用も差し支えないとされています。

イソプロパノール 医薬品の消毒剤の有効成分で、50～70%の濃度で使用されますが、新型コロナウイルスに対し**エタノールと同様の効果**があるとされています。

メタノール 人体への**毒性が高い**ものですので、手指の消毒用には**絶対に使用してはいけません**。

家庭用の塩素系漂白剤の成分です。肌が荒れることがあるため**手指の消毒には適していません**。また、**噴霧は絶対に行わないでください**。吸ったり目に入ったりすると健康に害を及ぼす可能性があります。

使用する際は、換気をし、家事用手袋を着用し、水で薄めた次亜塩素酸ナトリウムで拭いた後は水拭きをしましょう。

次亜塩素酸ナトリウム

0.05% 食器やドアノブ等の身近なものの消毒に使用。

0.1% 家庭に感染者がいる場合のトイレ、洗面所等の清掃には、家庭用洗剤を使用してすすいだ後に使用。

次亜塩素酸水

新型コロナウイルスに対する身近な物の消毒の有効性については、NITE※等の公的機関の最新の情報をご確認ください。

※NITE: 独立行政法人製品評価技術基盤機構

塩酸又は食塩水を電解することにより得られる次亜塩素酸を主成分とする水溶液で、**食品添加物**として指定されています。酸性電解水などともよばれ、食品の殺菌などに使われますが、使用後には水道水等によく洗い、「最終食品の**完成前に除去**しなければならない」とされています。

これとは別に、次亜塩素酸ナトリウムや塩酸などを混合し希釈した水溶液が次亜塩素酸水として販売されているため、**表示を確認**しましょう。

医薬品や医薬部外品の**消毒剤の有効成分**で、通常、**手指の消毒**には医薬部外品の場合0.05%で使用されています。

第4級アンモニウム塩 塩化ベンザルコニウム、塩化ベンゼトニウム

新型コロナウイルスに対する身近な物の消毒の有効性については、NITE等の公的機関の最新の情報をご確認ください。

二酸化塩素

二酸化塩素水溶液などの成分を含んだ商品が除菌剤として販売されています。

新型コロナウイルスに対する消毒の有効性は、現時点では確認されていません。